

平成23年度事業報告

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

社団法人 東京都空手道連盟

1 空手道の講習会及び講演会の開催

空手道を究明し、その実践活動を通して広く斯道の普及、啓発を図り、豊かな肉体と精神を涵養^{かんよう}することにより、心身の健全な発展に寄与することを目的とした講習会、講演会を開催した。

| 日付 | 事業名 | 会場名 | 備考 |
|---------------|------------|---------------|--------|
| 平成23年7月16・17日 | 都道府県強化選手合宿 | 日本空手道会館 | 200名 |
| 平成23年5月～12月 | 強化練習 | 国士舘大学・日本空手道会館 | 延べ700名 |

2 空手道大会の開催

生涯スポーツとしての観点から、幼年から中高年層を対象とした空手道大会を開催した。大会の実施に当たっては、広く会員に参加を呼びかけ、大会の成功と内部組織の充実強化を図った。

| 日付 | 事業名 | 会場名 | 役員・審判員等 | 参加選手 |
|-------------|--------------------|-------------|---------|--------------------|
| 平成23年5月8日 | 第64回都民体育大会 | 東京武道館 | 78名 | 男子38チーム 女子15チーム |
| 平成23年5月29日 | 第25回東京都小学生空手道選手権大会 | 東京武道館 | 126名 | 2,241名 |
| 平成23年6月26日 | 第41回東京都空手道選手権大会 | 東京武道館 | 122名 | 684名 0チーム |
| 平成23年7月24日 | 第25回中学生・幼年空手道選手権大会 | 東京武道館 | 124名 | 852名 |
| 平成23年11月27日 | 第18回シニアオープン空手道大会 | 新宿コズミックセンター | 51名 | 476名 |

3 公認指導員及び審判員の養成並びに資格認定

(1) 公認指導員講習会を実施して優秀な指導者を育成するとともに、公認指導員有資格者については、上級の資格を取得すべく、文部科学省及び財団法人日本体育協会並びに財団法人東京都体育協会のスポーツ指導員講習会へ受講者を派遣した。

| 日付 | 事業名 | 会場名 | 参加者 |
|----------------|--------------|-------------|-------------|
| 平成23年10月～24年1月 | スポーツ指導員養成講習会 | 荒川スポーツセンター他 | 受講者35名 |
| 平成24年2月4日 | 東京都公認指導員講習会 | 日本空手道会館 | 新規33名 更新48名 |

(2) 公認審判員講習会を実施して審判員を育成し、審判レベルを向上させるために、財団法人全日本空手道連盟の主催する地区及び全国公認審判員講習会へ受講者を派遣した。

| 日付 | 事業名 | 会場名 | 受講者 |
|------------|-------------|-----------|-------------------------------|
| 平成23年3月27日 | 第1回審判団編成講習会 | 日本空手道会館 | 全国32名 地区26名 A9名 B4名 |
| 平成23年4月3日 | 第2回審判団編成講習会 | 武蔵村山総合体育館 | 全国25名 地区19名 A0名 B3名 |
| 平成23年5月1日 | 東京都公認審判員講習会 | 日本空手道会館 | 更新者含 地区1名 A22名 B14名 区郡市39名 |
| 平成23年5月1日 | 女子組手審判員講習会 | 日本空手道会館 | |
| 平成24年2月5日 | 全空連指定形講習会 | 日本空手道会館 | 150名 |

4 公認段位審査会の開催

少年(8歳～15歳)の初段位・弐段位及び16歳以上の初段位から参段位までの公認段位審査会を主管・実施に加え、上級の公認段位を取得すべく、講習会などを開催し、財団法人全日本空手道連盟の主催する公認段位審査会への受審者を派遣した。

| 日付 | 事業名 | 会場名 | 受審者 | 合格者 |
|-------------|-----------|---------|-------------------------------|------------------------------|
| 平成23年4月17日 | 春季公認段位審査会 | 日本空手道会館 | 少初100名 少弐2名 初41名 弐17名、参22名 | 少初97名、少弐2名 初36名 弐17名、参9名 |
| 平成23年10月16日 | 秋季公認段位審査会 | 日本空手道会館 | 少初58名、少弐27名 初59名、弐27名、参20名 | 少初57名、少弐27名 初52名、弐27名、参9名 |

5 空手道に関する関係諸団体の実施する諸事業に対する協力援助

- (1) 各競技団体(関東学生空手道連盟、東京都高等学校体育連盟空手道部、東京都中学校空手道連盟、東京都スポーツ少年団等)との交流を深め、関連する諸事業に協力した。
- (2) 東京都教育委員会及び財団法人東京都体育協会並びに財団法人全日本空手道連盟等、関係団体の事業に対し積極的に協力した。

①財団法人全日本空手道連盟

| 日付 | 事業名 | 会場名 | 参加者 | 備考 |
|---------------|------------------------|----------------|-------|----------------|
| 平成23年4月2・3日 | 全空連強化選手選考会 | 日本空手道会館 | 選手10名 | |
| 平成23年8月6・7日 | 第11回全日本少年少女空手道選手権大会 | 東京武道館 | 選手48名 | 男子4位 女子4位 |
| 平成23年9月25日 | 第7回全日本障害者空手道競技大会 | 東京武道館 | 選手4名 | |
| 平成23年9月17～19日 | 日本スポーツマスターズ2011空手道競技 | 石川県加賀市スポーツセンター | 選手17名 | |
| 平成23年10月8～9日 | 第66回国民体育大会 | 山口県長門市ながと総合体育館 | 選手10名 | 男女総合4位 |
| 平成23年12月10日 | 第39回全日本選手権大会(団体戦) | 東京武道館 | 2チーム | 男子準優勝 |
| 平成23年12月11日 | 第39回全日本選手権大会(個人戦) | 日本武道館 | 選手4名 | 動員2,480名 |
| 平成24年3月28～30日 | 第6回全国中学生空手道選抜大会(はまなす杯) | 北海道北広島市総合体育館 | 選手20名 | 男子総合優勝 女子6位 |

②財団法人全日本空手道連盟関東地区協議会

| 日付 | 事業名 | 会場名 | 備考 |
|---------------|----------------|--------------|-----------------------------------|
| 平成23年7月3日 | 地区公認形審判員講習会 | 茨城県武道館 | 受講15名 合格12名 更新8名 |
| 平成23年8月20・21日 | 第42回関東空手道選手権大会 | 茨城県武道館 | 総合優勝 |
| 平成23年10月23日 | 第14回関東中学生選手権大会 | ブンブ東京スポーツ文化館 | 参加選手17名 13チーム |
| 平成23年11月19日 | 地区公認組手審判員講習会 | 茨城県武道館 | 受講23名 合格9名 更新19名 |
| 平成23年11月20日 | 公認四・五段位審査会 | 茨城県武道館 | 四段位=受審25名 合格12名 五段位=受審12名 合格3名 |
| 平成24年2月12日 | 関東地区審判講習会 | 日本空手道会館 | 受講者45名 |

③財団法人日本武道館

| 日 付 | 事 業 名 | 会 場 名 | 備 考 |
|----------------|---------------------|-------|---------|
| 平成 23 年7月 30 日 | 平成23年度全日本少年少女武道錬成大会 | 日本武道館 | 2,500 名 |

④東京武道館

| 日 付 | 事 業 名 | 会 場 名 | 参加者 |
|----------------------|--------------|-------|-----------|
| 平成 23 年7月 16・23・25 日 | 夏休み親子武道体験教室 | 東京武道館 | 16 組 32 名 |
| 中止(耐震工事のため) | 第 11 回東京武道館杯 | 東京武道館 | |
| なし(隔年実施のため) | 東京武道館錬成講習会 | 東京武道館 | |

⑤全日本中学校空手道連盟

| 日 付 | 事 業 名 | 会 場 名 | 参加者 |
|-------------------|------------------|---------------|------|
| 平成 23 年8月 19～21 日 | 第 19 回全国中学生選手権大会 | 群馬県総合スポーツセンター | 32 名 |

⑥スポーツ少年団

| 日 付 | 事 業 名 | 会 場 名 | 参加者 |
|-------------------|----------------------|-----------|-------|
| 平成 23 年7月 29～31 日 | 第7回関東ブロックスポーツ少年団競技大会 | 群馬県ぐんま武道館 | 180 名 |
| 平成 23 年 10 月 22 日 | 東京都スポーツ少年団大会 | 東京武道館 | 376 名 |

⑦公認指導員並びに審判員の養成と資格認定

| 日 付 | 事 業 名 | 会 場 名 | 備 考 |
|-------------------|--------------|---------|------------------------------------|
| 平成 23 年4月 9 日 | 全国公認形審判員講習会 | 日本空手道会館 | 受講 2 名 合格 1 名 更新 9 名 |
| 平成 23 年4月 9・10 日 | 全国公認組手審判員講習会 | 日本空手道会館 | 受講 22 名 合格 5 名 更新 23 名 ランク 16 名 |
| 平成 23 年 7 月 3 日 | スポーツ指導員義務講習会 | 茨城県武道館 | 受講 48 名 |
| 平成 23 年 9 月 5 日 | 日体協公認コーチ更新講習 | 日本空手道会館 | 受講 5 名 |
| 平成 23 年 11 月 26 日 | 公認六段位審査会 | 日本空手道会館 | 受審 7 名 合格 3 名 |
| 平成 23 年 11 月 27 日 | 公認七段位審査会 | 日本空手道会館 | 受審 1 名 合格 0 名 |
| 平成 24 年 3 月 4 日 | 公認八段位審査会 | 日本空手道会館 | 受審 4 名 合格 0 名 |

(5)選手選考会の開催

| 日 付 | 事 業 名 | 会 場 名 | 参加者 |
|-------------------|----------------------|----------------|----------|
| 平成 23 年4月 24 日 | 都空連強化選手選考会(成年) | 国士舘大学世田谷校舎空手道場 | 選手 48 名 |
| 平成 23 年5月 12 日 | 都空連強化選手選考会(少年) | 国士舘大学世田谷校舎空手道場 | 選手 53 名 |
| 平成 23 年5月 19 日 | 都空連強化選手選考会(成年) | 国士舘大学世田谷校舎空手道場 | 選手 4 名 |
| 平成 23 年6月 5 日 | 全国中学生・関東中学生大会代表選手選考会 | 亀戸スポーツセンター | 選手 187 名 |
| 平成 23 年6月 5 日 | 日本スポーツマスターズ代表選手選考会 | 亀戸スポーツセンター | 選手 28 名 |
| 平成 23 年6月 5 日 | 関東大会代表選手選考会 | 亀戸スポーツセンター | 選手 20 名 |
| 平成 23 年6月 9 日 | 関東大会代表選手選考会 | 日本空手道会館 | 選手 60 名 |
| 平成 23 年 10 月 20 日 | 全日本大会代表選手選考会 | 日本空手道会館 | 選手 21 名 |

6 空手道に関する調査研究

科学的な視点からの空手道全般に対する調査研究を引き続き実施する。

7 空手道に関する刊行物の発行

本連盟の活動内容や事業、関係諸団体や各区郡市本部の諸事業に関しては、ホームページを活用したため、「都空連ニュース」は発行しなかった。

8 その他、この法人が目的を達成するために必要な事業

(1)財源の確保の基礎となる正会員等の拡大を図った。

(2)選手権大会及び諸事業を推進させるために、広く財源を求めた。

(3)区郡市幹事長会議及び同連絡会議を開催して、各区郡市本部からの意見を広く聴取し、それを本連盟の運営に反映させ、組織の強化充実を図るために努力した。

| 日 付 | 事 業 名 | 会 場 名 | 参 加 者 |
|-------------------|------------|---------|-------|
| 平成 23 年 5 月 17 日 | 春季区郡市幹事長会議 | 都空連事務所 | 52 名 |
| 平成 23 年 11 月 24 日 | 秋季区郡市幹事長会議 | 日本空手道会館 | 53 名 |

(4)会員一人一人が参加できるような運営形態を維持していくために、各区郡市本部の行事を後援した。

(5)総会及び理事会の開催

①通常総会を年2回、定款の定めるところにより開催した。

②理事会を定款の定めるところにより開催した。

(6)幹部中央研修会等のあらゆる機会をとらえて、連盟の運営等についての意見を広く掌握し、組織の充実・強化を図った。

| 日 付 | 事 業 名 | 会 場 名 | 参 加 者 |
|------------------|-----------------|--------|-------|
| 平成 24 年 1 月 22 日 | 平成 23 年度幹部中央研修会 | 都空連事務所 | 25 名 |

(7)斯道を通じて広く都民の体位向上と、青少年層に対する健全な心身の育成に重点を置き、区郡市本部を基盤とした本連盟の充実発展を図った。

(8)生涯スポーツの視点から、中高年層への普及活動を積極的に行なった。

(9)エンブレム、ネクタイ、ワッペンなどあっせんを行なった。

(10)インターネットのホームページを活用し、広く情報収集・提供を図った。

(11)公益法人制度改革において、ワーキンググループを設置し検討を重ねた。